

4. 本時のねらい

学級が望ましい集団生活をするためには、楽しく、しかも、協力し合う学級づくりが大切であり、そのためには、生徒一人一人が何事にも積極的に

行動し、実践する態度を持つことが必要であることを、学級の問題点を話し合う中から理解させる。

5. 指導過程

指導内容	学習活動	時間	指導上の留意点（教育目標との関連）
1. 本時のめあてを確認する。 一学級の問題とわたし 2. アンケートの結果から学級の問題点を明らかにする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>本時の学習内容を知る。</li> <li>アンケートのグラフを見て、問題点に気づく。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     イ. 消極的な行動                      ロ. 責任感の不足                      ハ. 利己的な言動等                 </div>	10 (分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>集計をして感じたことを係に発表させる。</li> <li>発表や意見を聞く態度を確認する。</li> <li>発表の仕方や分かりやすい説明の仕方を工夫させる。</li> <li>係の活動を尊重させる。</li> <li>悪い点だけでなく良い点も意識させる。</li> </ul>
3. 問題点について話し合わせる。 = 集団の中で望ましい個人のあり方 = ① 個人の責任 ② 集団への適応 ③ 向上心 4. 話し合いの結果をまとめる。 ・他の立場を理解する ・他に協力する ・積極的に行動する ・自分の責任を果たす	<ul style="list-style-type: none"> <li>今までの活動をふりかえって問題点を明確にする。</li> </ul> 話し合い <班別> <ul style="list-style-type: none"> <li>個人や集団の場で困った例を発表しあう。</li> <li>個人についてふり返る。</li> <li>望ましい個人のあり方について話し合う。</li> <li>個人が集団にどうかかわればよいか話しあう。</li> </ul> <全体> <ul style="list-style-type: none"> <li>各班のまとめを発表する。</li> <li>全体の結果をまとめる。</li> </ul>	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>学級の中の間人間関係や個々の役割を中心に考えさせる。</li> <li>学級日誌や個人生活表を利用する。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">                     ・係の仕事がきちんとできたか                      ・他人任せでなかったか                 </div> <ul style="list-style-type: none"> <li>生徒個々の実践力が大切であることを指導する。</li> <li>困った時どうしたかの結果まで話させる。</li> <li>他を援助したり援助されたりしたか。</li> <li>生徒達の発言を中心にまとめる。</li> <li>正しい自己理解に基づき積極性を持って行動する構えをつくる。</li> <li>集団活動を通し生徒の相互理解を深めさせる。</li> </ul>
5. 学級生活での実践への意欲づけを図る。	各自まとめ今後の実践態度や方法を意志表示する。	10	<ul style="list-style-type: none"> <li>教師のねがいを含めてまとめる。</li> </ul>

(5) むすび

この事例は、教育目標を特別活動に具現化するために、年度の重点目標から特別活動の重点目標へ、さらに、学級指導の4つの内容へと具体化を図ったものであるが、特別活動の内容には各学校の教育目標にかかわる内容が直接的に含まれていると考えられるだけに、その具現化の過程で、その関連を特に大切にしなければならないと考えら

れる。特に1時間の指導過程への教育目標の位置づけが最も大切である。本例では、指導上の留意点の中に、指導内容と学習活動を受けた形で教育目標との関連を具体的に表現しており、指導の際特別活動の内容と教育目標とのかかわりが明確に分かり、指導の効果をあげることができると考えられる。この考え方を各学校の独自の指導過程にも活用することが望まれる。